

関連産業振興委員会

委員長 傳法 昌幸 副委員長 木村 純一 副委員長 村地 正行
副委員長 前田 賢 副委員長 松本 健一
副委員長 飯田 泰子 副委員長 保坂 健一

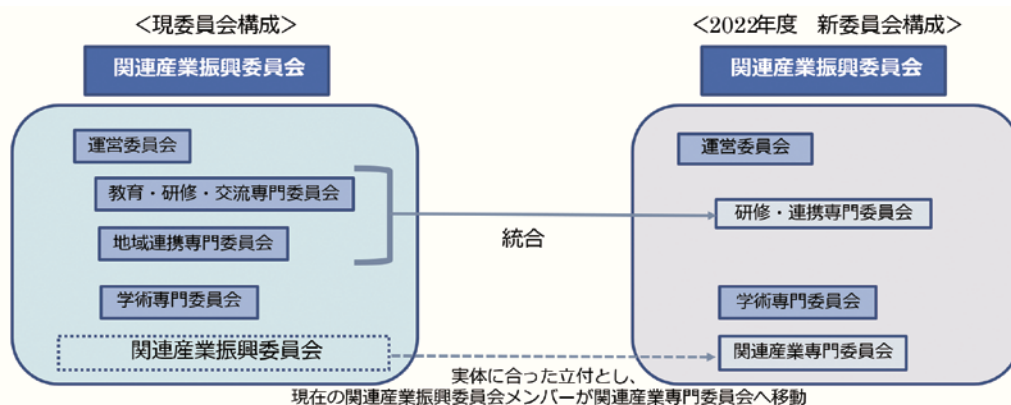
I. 関連産業振興委員会役割と基本方針、および2022年活動計画概要

2022年度「関連産業専門委員会」と「研修・連携専門委員会」の発足。

コロナ禍での新しい活動を検討し関連産業振興委員会の体制を見直した。

2022年4月1日から新しい体制として、現在の「関連産業振興委員会」委員が新しい「関連産業専門委員会」委員として活動を開始する。

また、「教育・研修・交流専門委員会」と「地域・連携専門委員会」を統合し、「研修・連携専門委員会」として新しい活動を開始する。



- **構成変更目的**
 - ✓ 時代の変化（活動方法・地域性）への対応
 - ・ 参加者、講師、会場の場所にとらわれないWEB中心へ活動シフト
 - ✓ 専門委員会を統合し、実活動できる人材を確保して活動の継続、活発化をはかる
- **研修・連携専門委員会（新統合専門委員会）**
 - ✓ 会員企業に対して、医療関係を中心にした幅広い分野に関する情報発信を行う。
 - ✓ 会員相互の交流および他団体（技師会、アカデミア、他医療業界、行政など）との連携を図る

活動例

 - ・ ITEM見学ツアー（毎年4月）
 - ・ アカデミア関連の企画（1回/年）
 - ・ 企業関連（異業種含む新技術など）の企画
 - ・ 関連産業振興委員会および当専門委員会への会員企業の新規登録の勧誘

1. 関連産業振興委員会

関連産業振興委員会では委員会全体の運営を取りまとめる運営委員会のもと3専門委員会を置き、経済環境、技術環境等の外部環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、JIRA関連産業（モダリティ機器、ソフトウェア、周辺機器、関連用品、関連工事、測定管理、保守サービス等）の発展振興のための施策を企画、推進する。

JIRA画像医療システム産業ビジョン2025を受けて、関連産業振興委員会としては今後3か年に以下の事業活動に注力する。

コロナ禍で活動の制限を受けている最中、実現が可能な内容に絞って活動展開を図る。

- ・ WEB利用を中心に委員会活動を通じてタイムリーな話題に着目し、企業が必要とする情報提供し製品開発・活動のヒントになる活動をする。

- ・日本放射線技術学会（JSRT）との連携強化により、お互いに線量管理、感染予防など様々な課題に対して産業側として解決推進を図る。
- ・また、AI等の新たな技術分野に対して、JSRTと連携しながら議論を深める機会を設け、これらの新技術が、関連産業振興委員会企業にとってどのような影響が生じるか検討する。
- ・委員会内の役割分担を明確にし、世代交代も含め委員会活動の活性化を図っていく。

1.1 運営委員会

関連産業振興委員会各専門委員会の活動状況等の情報共有並びに各専門委員会が抱える課題解決について協議する。

1.2 関連産業専門委員会

- ・政策企画会議・各専門委員会からのタイムリーな情報提供
- ・会員の関心のある話題について情報提供
- ・課題の創出

1.3 学術専門委員会

JSRTとの連携を主体に事業を推進する。

総合学術大会、秋季学術大会、東京支部大会（春、秋）での共催イベントの企画運営を行う。以下を重点項目として推進する。

● JSRTとの関係強化

- ・JSRT学会でのJIRA発表会、JIRAワークショップ等の活動を通して、学会メンバーとの関係を築き、認知度をさらに上げていく。
- ・医療の質向上のために、AI等の新たなデジタル技術をいかに活用できるかをJSRTと機会を設けて、医療現場への導入拡大につなげていく。
- ・新たに、JSRT東京支部と医工連携活動を推進する。

● 学会時のJIRA発表会、JIRAワークショップの活性化

- ・現地参加とWEB参加のハイブリット開催に合わせた、議論活性化、プロモーション活性化の方法を探っていく。

1.4 研修・連携専門委員会

- ITEM見学ツアー（毎年4月）
- アカデミア関連の企画（1回/年）
- 企業関連（異業種含め）の企画
- 関西及び中部地域での会員企業の登録

2. 2021年度主な活動

2.1 学術専門委員会

第49回JSRT秋季学術大会

◎JIRAワークショップ 10月15日（金）16：50～18：20 学会：2演題、JIRA：2演題

- ・テーマ：医療現場における線量情報管理の現状～メーカー側およびユーザー側の取り組み～

司会 JSRT 金沢大学 松原 享祐様

JIRA コニカミノルタ(株) 長東 澄也様

- ・「DICOM RDSR構築概要と被ばく推定のためのタグの説明」
キヤノンメディカルシステムズ(株) 中野 信一様
- ・「RDSRなどを使用した照射線量情報の収集方法と被ばく線量について」
バイエル薬品(株) 山内 宏祥様
- ・「診療現場における線量管理システムを構築するためのモダリティ側と線量管理システム側の課題と要望」
倉敷中央病院 福永 正明様
- ・「オーダ情報 (JJ1017) を利用した放射線被ばく線量情報管理システムの構築と運用」
熊本大学病院 栃原 秀一様

◎JIRA 発表会 10月16日 (土) 16:00~17:30 9 演題

技術一 1 16:00~16:50

- 座長: JIRA 学術専門委員会委員長 武山 佳裕様
コメンテータ: 橋田 昌弘様 (帝京大学福岡医療技術学部)
- ・JO1 「一般撮影マネジメントシステム『RADInsight』を用いた業務最適化」
コニカミノルタ(株) 佐藤 拓也様
- ・JO2 「人工知能 (AI) を用いたX線画像診断支援アプリケーションの開発」
コニカミノルタ(株) 藤原 慎介様
- ・JO3 「高速モンテカルロ法の実装と汎用性の拡張—RayStation 10A」
レイサーチ・ジャパン(株) 中西 匡様
- ・JO4 「クラウドファントム解析システム Smari」 東洋メディック(株) 黒田 武弘様
- ・JO5 「Aplio i-sereis/Prism Editionにおける新映像化技術とAI技術」
キヤノンメディカルシステムズ(株) 深澤 雄志様

技術一 2 16:50~17:30

- 座長: JIRA 技術広報専門委員会委員長 長束 澄也様
コメンテータ: 和田 博文様 (済生会熊本病院)
- ・JO6 「被検者を動かさない視野移動を実現したX線TVシステム「Astorex i9」開発」
キヤノンメディカルシステムズ(株) 早乙女 貴紀様
- ・JO7 「17×17 “対応マルチ移動型 FPD 保持台 PAG ポジショニングパートナー」
Jpi ジャパン(株) 良知 義晃様
- ・JO8 「高耐久の抗菌性能を有する動画 (シリアル) 撮影対応 FPD の開発」
コニカミノルタ(株) 石井 良英様
- ・JO9 「軟部/骨部画像の視認性が向上した「Energy Subtraction Advance」の胸部撮影への適用」
富士フイルム(株) 甲斐 勇二様



JIRA 発表会場での討論の様子

2.2 地域・連携専門委員会

◎WEBセミナー 11月16日（火）17：30～19：30

- ①石川紀彦 副院長：「手術支援ロボットの過去・現在・未来」
- ②渡邊剛 総長：「第4次産業革命と医療」